

The Future of Learning



“The Future of Learning”

Presentation and panel brain storming

Motivation Maker
After-school
Learning for ALL

「学びの未来を語る」ブレインストーミングat 東京大学福武ラーニングスタジオ

変化の激しく多様性が尊重される未来社会、子供と大人が立場を超えて持続的に学び合える、第3の場の必要性

21世紀になり、既に10年以上が過ぎました。私たちが子供の頃にかつて思い描いていた、「21世紀の未来」はどのようなものだったのでしょうか。私たちの想像を越えていたこととして、動的な社会変化のスピードや方向の多様性が挙げられるのではないのでしょうか。現代に必要とされる「学び」とは、そうした動的で多様な社会の中でも、自立的に生きていくために必要な力を身につけていく行為であると言えます。

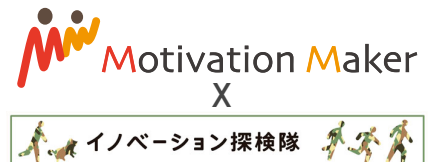
今回の招待制のトークイベントでは、日本で新しい「学び」の形を実践している3団

体、**Learning for all (LFA)** 松田悠介さん、**放課後NPOアフタースクール (AS)** 上原惇さん、そして**Motivation Maker (MM)** 岩田拓真で議論を行いました。三名には活動紹介をしていただくと共に、今回のイベントでは、「パネル・プレスト」と題して、3団体の代表と共に、MM横田幸信がファシリテーターとして、会場にお越しの方々とも一緒に、日本の「学びの未来」についてブレインストーミング（プレスト）を行いました。

プレストのキーワードとして、MM岩田からは「生きるエンジン」、LFA松田さん「プロフェッショナル」、AS上原さん「地域」が提案されました。パネル・プレストでは、提案されたキーワードを端緒として、「学びの未来」について、自由なアイデアが各パネラーだけではなく、会場にいる参加者からも飛び出しました。「子供の心のエン

ジンが多様化していく」「学校や家庭ではない、第三の学びの場が見直される。それは廃校であったり、神社やお寺、町工場など、むしろ街そのもの」「学校の先生に求められるのは、知識を教える力よりも、子供の学びのために社会のプロフェッショナルを連れてくるコーディネート力になる」「大人が子供との関係性の中で、自らも学べる環境の実現」「本業以外での社会的取り組みへコミットし、仕事とプライベートの垣根がなくなる」

こうした未来イメージに正解はなく、私たちが議論した内容や、今後新たに想像していくイメージを、私たち自身の手で実現していくのでしょうか。



2011

五月祭シンポジウム「学びの未来を語る」

日時：2011年5月28日（土）9:00～11:30

主催：Motivation Maker × イノベーション探検隊

イベントデザイン：MM遠藤友里恵、イノタン沼田逸平

会場：福武ラーニングスタジオ

参加者：招待者30名程度

◎プログラム概要

タイトル：『学びの未来を語る』

オープニング：「学び×イノベーション - 東京大学i.schoolでの試み」 by イノベーション探検隊

活動紹介：Learning for All、アフタースクール、Motivation Maker

パネル・プレスト：「学びの未来として、見えてくること」

◎参加団体

Learning for All | <http://www.learningforall.jp/>

アフタースクール | <http://www.npoafterschool.org/>

Motivation Maker | <http://www.motivation-maker.org/>